

1 今年度の学部研究について

- ・遊び、生活単元学習、音楽の研究授業及び授業研究会を実施した。
- ・授業者(授業担当学年)には略案を作成していただいた。
- ・目標や内容と手立てを考える参考として、先行研究から抜粋した資料を通して、「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の目指す具体的な児童生徒の姿や手立てについて学んだ。
- ・観点別評価について、先行研究から抜粋した資料を通して、目標の設定ポイントや評価規準の設定ポイントについて学んだ。

2 第1回研究授業 小学部3年「遊びの指導」

(1)指導略案より

日 時	令和6年7月17日(水) 3校時(10:25~11:10)
場 所	小学部3年2組教室
対 象	通常学級7名(男子5名、女子2名) 重複障がい学級2名(男子2名)
授業者	工藤 萌生(T1)、千田 隆芳(T2) 他3名
1 単元名	「めざせ!カラフルはかせ」
6 本時の計画(7/8)	
(1) 本時の目標	
	①氷の特性が分かり、手で溶かしたり紙に塗ったりすることができる。【知識及び技能】
	②見通しをもって活動に取り組み、自分なりの遊び方を見つけ、色や形の違う氷で遊ぶことができる。【思考力、判断力、表現力等】
	③主体的に活動に取り組み、時間いっぱい遊ぶことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2)個別の目標と評価

観 点	児童	個別の目標	評 価
知識・技能	A	氷の特性が分かり、溶かしたり塗ったりすることができる。	冷たさや体に触れると溶けるといいう氷の特性を理解し、溶かしたり塗ったりして遊ぶことができた。
	B	氷の特性を活かして、溶かしたり滑らせたりすることができる。	滑って溶ける特性が分かり、溶かしたり滑り台を滑らせたりして遊ぶことができた。
	C	氷の感触に興味を持ち、手で握ったり押しつぶしたりすることができる。	教師に勧められ、氷を手にとったり足で踏みつぶしたりして遊ぶことができた。
思考力・判断力・表現力	A	見通しをもって活動に取り組み、好きな遊び方を見つけ、複数の氷で遊ぶことができる。	自分で好きな遊びを選んだり考えたりして、複数の遊びを楽しむことができた。終わりの合図やBGMを聞いて片付けることができた。
	B	見通しをもって活動に取り組み、好きな遊び方を見つけ、複数の氷で遊ぶことができる。	色を選んだりポケットに氷を入れたり遊び方を見つけ、様々な氷で遊ぶことができた。
	C	活動スケジュールを教師と一緒に確認したり活動したりすることで見通しをもち、自分なりの遊び方で	たらいに自分から足を入れ冷たさや感触を楽しむことができた。自分の好きな遊び方で遊ぶことができた。

主体的に学習に取り組む態度	A	食べ物の英単語に興味を持ち、自分から話そうとしたり、相手の答えを聞いたりしながら、主体的に活動に取り組む。	自分から友達に質問したり、英語で話したりすることを楽しんでいて、大きな声、相手が聞き取りやすい話し方を考えて発表できた。
---------------	---	---	--

(3) 課題点、改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴ形式のゲーム感覚で、楽しみながら英語を学ぶことができていた。 ・教師のデモンストレーションを見ながら理解し、見通しをもって取り組んでいた。 ・パワーポイントでの英文の示し方が分かりやすく工夫されていた。 ・音楽で始まりの楽しい雰囲気を作り、期待感をもたせる工夫ができていた。 <p>⇒・本時の目標に「知識・技能」の項目があっても良かったのではないかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントの文字量と大きさ、文字の色に配慮が必要だったのではないかな。 ・対象児童以外の児童に対して、実態に合った内容であったかな。 ・インタビューシートを工夫することで、さらに扱いやすく見やすくできるのではないかな。など
--

4 第3回 研究授業 小学部2年「音楽」

(1) 指導略案より

日 時	令和6年12月20日（金）3校時（10:25～11:10）
場 所	音楽室
対 象	通常学級14名（男子12名、女子2名）重複障がい学級1名（女子1名）
授業者	山本 洋司（T1）、百済 悠（T2）喜多山 順子（T3） 他4名
1 単元名	「みんなで音楽を楽しもう！～なかよしドレミ～」
6 本時の目標（12/12）	<p>(1) 音階の違いに注目して、音楽や演奏する友達や教師と合わせて、プッシュベルを鳴らすことができる。【知識・技能】</p> <p>(2) 歌詞や曲調の変化に気付き、音楽的な表現を楽しむことができる。【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(3) 発表する時の態度やきまりを意識し、発表に取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】</p>

(2) 個別の目標と評価

観 点	児童	個別の目標	評 価
知識・技能	A	自分の担当する音階が分かり、音楽に合わせてプッシュベルを鳴らすことができる。	自分の担当する音階を理解して、音楽も聴き友達に合わせてプッシュベルを鳴らすことができた。
	B	教師と一緒にプッシュベルを鳴らすことができる。	教師と一緒に最後まで音を鳴らすことができた。
思考力・判断力・表現力	A	色の手話表現を覚え、自分の好きな色を選び、手話表現をすることができる。	好きな色を選び、自分から手話表現をすることができた。
	B	音楽に合わせて、歌ったり、手でリズムをとったりするなど身体表現ができる。	歌いながら手拍子をしたり身体を動かしたりして表現することができた。

